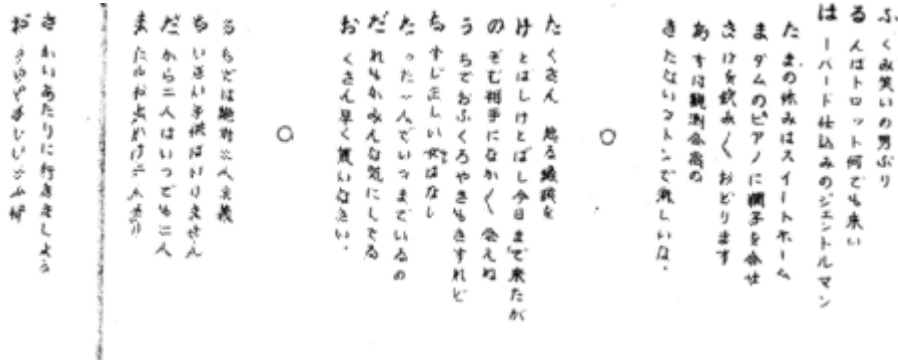
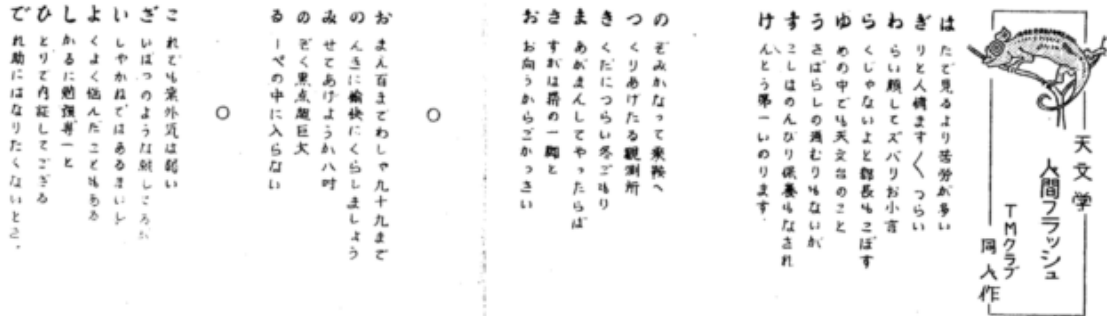


＊ 東京天文台クラブ「塔影」3号の「天文学人間フラッシュ」

アーカイブ室新聞番外編5号で東京天文台時代の同人雑誌「塔影」を紹介した。そして、その4号分をデジタルアーカイブしたと報告した。読みたいから貸して欲しいという人はまだ現れない。読んでいる暇もない向きが多いと思うが、定年後の友人が目にして面白い記事があると教えてくれた。確かになかなか面白い。「塔影3号」は昭和27年(1952年)8月発行である。

当時の東京天文台の有名人というか大物というか、そういった人の名前の一文字ずつを頭に人物評を書いたものがある。それらを紹介してみよう。著者はTMクラブ同人。



萩原雄祐(当時の台長・文化勲章受章者)の分について書き出してみよう。

- は たで見るより苦勞が多い
- ぎ りと人情ますますつらい
- わ らい顔してズバリお小言
- ら くじゃないよと部長もこぼす
- ゆ めの中でも天文台のこと
- う さばらしの酒むりもないが
- す こしはのんびり保養もなされ
- け んとう第一いのりです

は なのバリーに産ばんものど
 りく、燃費したいけど
 らくではないうちの身
 すぐに減されば産れはせぬが
 みこし上らぬ春の朝
 これでも私は構一杯

くるうを知らぬお嬢さん
 らくにくらせばはいちものを
 いやにすましているために
 ひやかされるとすぐにイヤーン
 さらりと流し目送つたら
 こゝろりと男は巻るでしょう

は らをた、いで大見得れば
 たぬきもコソコソ述けて行く
 なまける手合が多いのご
 かっを入れるに忙しい
 たまに麻耶ひき刺突をすれば
 けうも台長に起された
 おちつくひまとてありません

おおきなことを言うには言うが
 おれじやだめだとたちまち退却
 さつきの笑顔はどこへやら
 わるい人じゃあないけれど
 き印あたまじやないかしら
 まははよいのにパチンコ好きで
 てんで遊んどばかりいる
 す番しつかりしなさいよ

おさなひとときからよくもて
 びじんの反逆事だかす

しやしんをとったり焼付けたり
 んらんと来しんだその後で
 やっぱり結婚致しました

しんらつなご時々言うが
 みんなにちっとも嫌われぬ
 ずい今人気があるようだ
 みは小粒でもビリリとからい
 のっぱに笑けてなるものか
 すを守ってタワーで観測

たくさん高直をはり兼ね
 の文を中から返ひます
 くる日もくる日もハイパチリ
 ぼくのアルバム一杯だ
 けれど袖甘御衆
 いやくながら行きますわ
 やっぱり三風が恋しいな

ここまで掲載してみても、印刷してみたが、読みづらいことが分かった。大した量ではないので、すべて書き直してみよう。筆者がよく存じ上げない方もおいでだが、名前の後に、当時、あるいはその後の肩書きをいれてみました。故人もいますが、健在の方もいらっしゃいます。このような自由があった時代だなあと、つくづく思います。

野附誠夫（初代乗鞍コロナ観測所長） 小野 実（元太陽）

の	ぞみかなって乗鞍へ	お	前百までわしゃ九十九まで
つ	くりあげたる観測所	の	んきに愉快にくらしましょう
き	くだにつらい冬ごもり	み	せてあげようか八吋
ま	あがまんしてやったらば	の	ぞく黒点超巨大
さ	すがは鼎の一脚と	る	一ぺの中に入らない
お	お向うからごかつさい		

古在由秀（元台長、初代国立天文台長） 古畑正秋（元測光部長、元台長）

こ	れでも案外気が弱い	ふ	くみ笑いの男ぶり
ざ	いばつのような顔してるが	る	んばトロットなんでも来い
い	しやかねではあるまいに	は	ーバード仕込みのジェントルマン
よ	くよく悩んだこともある	た	まの休みはスイートホーム
し	かるに勉強専一と	ま	ダムのピアノに調子を合わせ
ひ	とりで内証してござる	さ	けを飲み飲みおどります
で	れ助にはなりたくないとき	あ	すは観測合宿の
		き	たないフトンで淋しいな

竹内端夫（元天体掃索部）

た くさん 起こる縁談を
け とぼしけとぼし今日まで来たが
の ぞむ相手になかなか会えぬ
う ちでおふくろやきもきすれど
ち すじ正しい女はなし
た った一人でいつまでいるの
だ れもがみんなきにしてる
お くさん早くもらいなさい

内田正男（元天体掃索部）

う ちでは絶対二人主義
ち いさい子供はいりません
だ から二人はいつでも二人
ま たもお出かけ二人きり
さ かいあたりに行きましょう
お うらやましい二人仲

羽原（清水）澄子（元子午線部）

は なのパリーに遊ばんものと
ば りばり勉強したいけど
ら くではないよ勤めの身
す ぐに起されば遅れはせぬが
み こし上がらぬ春の朝
こ れでも私は精一杯

くらいひさこ（元天文時部）

く ろうを知らぬお嬢さん
ら くにくらせばいいものを
い やにすましているために
ひ やかされるとすぐにイヤーン
さ らりと流し目送ったら
こ ろりと男は参るでしょう

畑中武夫（元太陽電波部）

は らをたたいて大見得きれば
た ぬきもコソコソ逃げて行く
な まける子分が多いので
か つを入れるに忙しい
た まに風邪をひき朝寝をすれば
け うも台長に起こされた
お ちおちひまとてありません

大沢清輝（元恒星分類部長、元台長）

お おきなことを言うには言うが
お れじゃだめだとたちまち退却
さ っきの気焰はどこへやら
わ るい人じゃあないけれど
き 印あたまじゃないかしら
よ せばいいのにパチンコ好きで
て んで遊んでばかりいる
る す番しっかりしなさいよ

小尾信也（元分光部、放送大学長）

お さないときからよくもてて
び じんの友達事欠かず
し やしんをとったり焼付けたり
ん （ウン）と楽しんだその後で
や っぱり結婚いたしました

清水 実（元岡山天体物理観測と頃副所長）

し んらつなこと時々言うが
み んなにちっとも嫌われぬ
ず い分人気があるようだ
み は小粒でもピリリとからい
の っぽに負けてなるものか
る すを守ってタワーで観測

高窪啓弥（元分光部、後東北大学教授） 青木（赤羽）賢司（元宇宙電波観測所長）

た くさん写真をはり集め
か の女を中から選びます
く る日もくる日もハイパチリ
ぼ くのアルバム一杯だ
け れど仙台御栄転
い やいやながら行きますか
や っぱり三鷹が恋しいな

あ おいセーターに赤いネクタイ
お とこ一匹青木さん
き ようも日向で寝そべって
け しき見るよなふりをして
ん まい話をきいています
じ やまにされても平気です

おくやまようこ

お よめに行ってやりくりの
く ろうするのはまだはやい
や っと目覚めた青春を
ま んきつしてる昨日今日
よ うじんなさいあの人に
う っかりイエスと返事して
こ うかいなんかせぬように

辻 光之助（元子午線部教授）

つ もる観測三十年
じ つにようまあやってきた
こ ん気はまだまだ続きます
う まい山羊乳毎朝のんで
の ぞみは高しチホブラーへ
す みちゃんふくちゃんさわちゃんに
け しいあいされるよい親爺

安田春雄（元子午線部長）

や さしい奥さん手に入れて
す っかり満足しています
だ けどね、つらい公務員
は りきり子午環へ出かけても
る すが何だか心配で
お ちおち観測できません

伊藤（栗原）さや子

い ろ恋の道知らぬげに
と てもシックな賢夫人
う ちに秘めたる情熱は
さ すが辻研係長
や すむ暇なく仕事して
こ っそりおさぼり致しましょう

どうでしょうか、なんともうらやましい時代のように思えます。今、こんなことを書いて、夜道どころかその辺を歩けるとはとても思えません。おおらかな時代があり、おおらかな人種が住んでいた三鷹キャンパスがあったのですね。